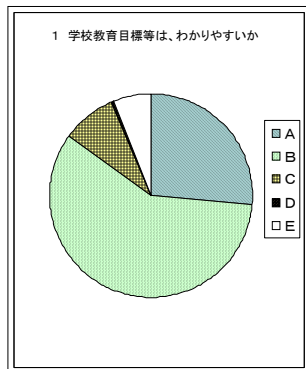
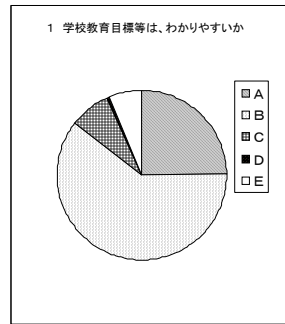


保護者アンケートの結果について（お知らせ）

平素は本校教育推進のため何かとお力添えいただきありがとうございます。
さて、保護者の皆様による「アンケート」にご回答いただきありがとうございました。集計ができましたので、まずは以下のように結果をお知らせいたします。
これからも、来年度に向け、校内で話し合い、取り組み等を進めていきたいと考えております。

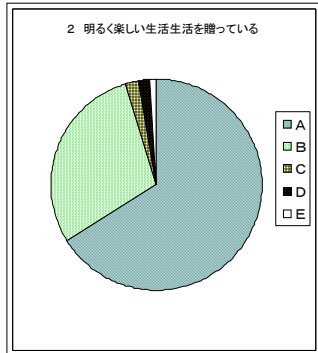
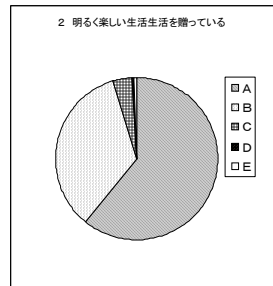
左上のグラフが前年度、右下が本年度のものです。



1、真野小学校の教育目標や取り組みの重点は適切で、わかりやすく示されていますか。

A「そう思う」 B「どちらかといえばそう思う」という回答が85%でした。学校便りや生徒指導だよりなどを通じて理解していただきやすくなったのではないかと考えます。

内訳を見ると、昨年よりAがすこし増えました。しかし、C・Dとお答えになっている方もあり、今後も学校からの情報発信をわかりやすく、さらに充実させていきたいと考えております。



2、お子さまは、毎日、明るく楽しい学校生活を送っていますか。

AとBで95%で喜ばしい状況ではありますが、CとDで4%、言い換えると25人に一人、各学級に一人は該当者がいるという状況です。この項目も昨年度よりAがすこし増えました。

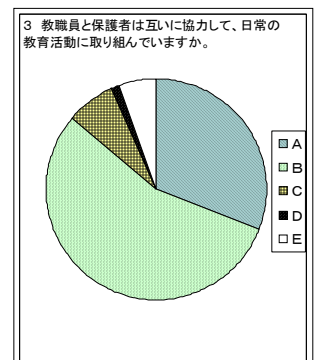
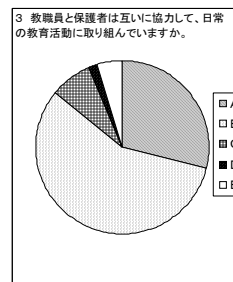
一人ひとりの子どもたちの学校でのくらしの様子を把握し、家庭との連絡を十分にとりながら対応していく必要があると考えます。

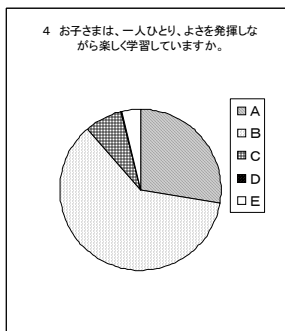
学校行事等を含めた教育活動全般について今後も校内で見直しを続け、学級担任が子どもたち一人ひとりと向き合える時間をさらに生み出すよう努力してまいります。

3、教職員と保護者は互いに協力して、日常の教育活動に取り組んでいますか。

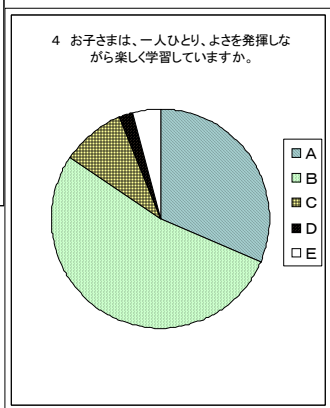
今年も、多くの方からA「そう思う」 B「どちらかといえばそう思う」という回答をいただきました。

この結果に満足せず、2の項と同様に、さらに一人ひとりの子どもに対して家庭との連絡を十分にとりながら対応していくよう努めたいと考えます。





4、お子さまは、一人ひとりのよさを発揮しながら楽しく学習していますか。

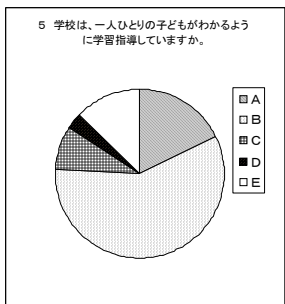


多くの方からA・Bという回答をいただきました。日常の取り組みの成果だと喜んでおります。昨年度より、Dと回答された方が増えた設問です。

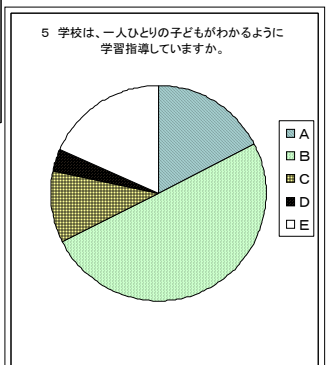
C「どちらかといえばそう思わない」・D「そう思わない」という回答をあわせて10%程度の方が、一人ひとりのよさを十分発揮できていない、あるいは、楽しく学習できていないと感じていらっしゃるようです。

しかし、保護者と同時に、子どもたちにもアンケートを実施しておりますが、「勉強が楽しくよくわかるか」という設問の子どもたちの回答は、Aが40%、Bが49%という結果でした。

さらに、一人ひとりの子どもたちのがんばりをご家庭に伝えていく努力を積み重ねてまいりたいと思います。



5、学校は、一人ひとりの子どもたちがわかるように学習指導していますか。

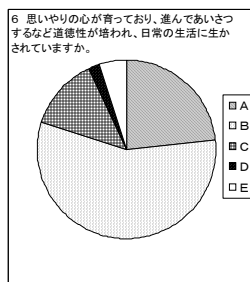


今年、Bと回答された方が減少し、E「わからない」と回答された方が増えました。Eと回答された方が2割近くありました。

この項目も保護者と同時に、子どもたちにもアンケートを実施しておりますが、同様の設問の子どもたちの回答は、Aが61%、Bが30%という高率になっており、保護者と子どもたちのギャップが大きいと思います。

この項目の結果からも、保護者の方々にも伝えるような取り組みを行っていきたいと考えます。

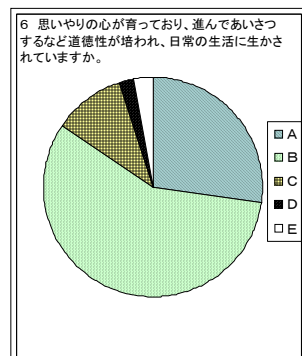
6、思いやりの心が育っており、進んであいさつするなど道徳性が培われ、日常の生活に生かされていますか。



A・B評価ともに少し増加していることが、グラフからわかります。普段の学級での指導や道徳の時間、また、たてわり活動などを通して培ってきました。急激な変化を望むことは難しいですが、今後も少しずつでも伸びていくよう取り組んでいきます。

朝、学校に来た時に「おはようございます」といえる子どもは増えてきました。あいさつは習慣です。校門での朝のあいさつだけでなく、他のあいさつも時と場所によって使い分ける習慣も身につけさせたいと思っています。

それぞれの地域でもあいさつの習慣が身につくよう子どもたちに接することを増やしていただくと、大きな地域の教育となると思います。



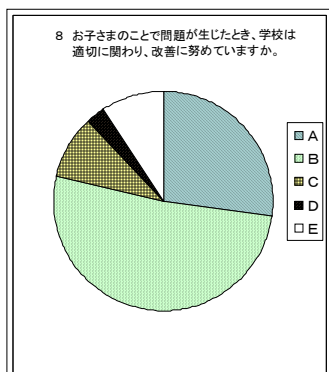
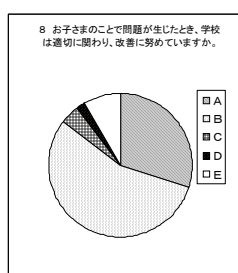
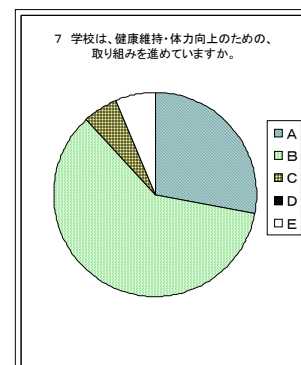
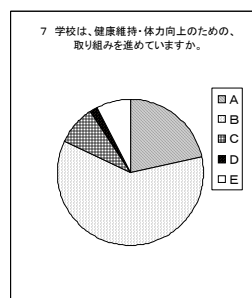
7、学校は、健康維持・体力向上のための、取り組みを進めていますか。

90%近くの方が取り組みを進めていると評価していただきました。

これからは、マラソンやなわとびなど子どもたちが目標を持ち、自らが頑張っていく取り組みが始まります。

また、学年通信で紹介させていただいている家庭での運動などをきっかけとして日常的な運動習慣が育つことも願っています。

さらに、インフルエンザをはじめ、風邪や虫歯などの予防について指導を充実し、健康維持の意識と実践力の向上に今後も努めてまいります。



8、お子さまのことで問題が生じたとき、学校は適切に関わり、改善に努めていますか。

A・Bをあわせると80%近くの方から、適切に関わり改善に努めていると回答いただきました。

10%が「わからない」と回答されたのは、そのようなことが今までになかった方ということが考えられます。

C・Dと回答された方が昨年度より増加し、学校全体としては組織的に対応できているのか見直していきたいと考えます。

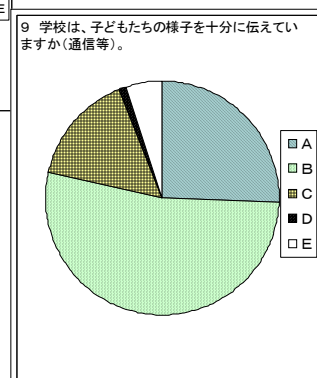
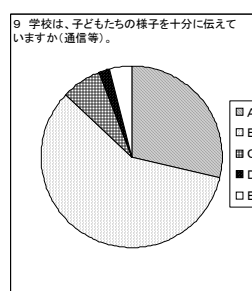
学級に寄せられた連絡帳や電話などの連絡について、学年や学校として情報を共有して「全職員で子どもたち一人ひとりを見ていく」という取り組みを今後も進めていきたいと考えます。

9、学校は、子どもたちの様子を十分に伝えていますか(通信等)。

80%近い方から「伝えていると思う」と回答いただきました。

この設問は昨年度より評価が下がった項目の一つです。

また、記述欄に学年や学級の一人ひとりの子どもたちの様子を伝えてほしいというご要望もありました。学校便りをはじめ、生徒指導・食育・保健だより、あるいは、学校ホームページなど、学校全体としての情報発信を行っています。一人ひとりの様子も伝えていけるようにしていきたいと思ひます。

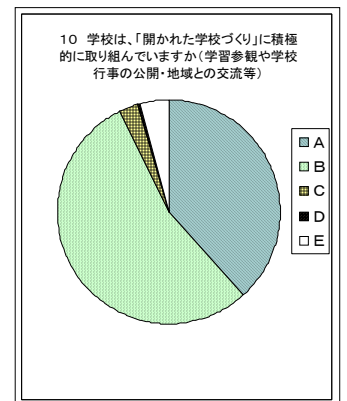
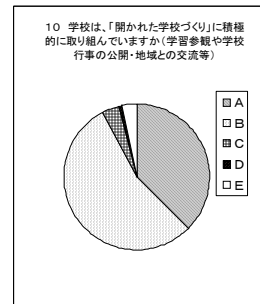


10、学校は、「開かれた学校づくり」に積極的に取り組んでいますか(学習参観や学校行事の公開・地域との交流等)。

ほとんどの方からA・Bの評価「取り組んでいると思う」とご回答いただきました。

これは、ドレミ集会をはじめ学校行事について、限られたスペースではありますが、できる限りご来校いただき子どもたちの成長ぶりを見守り、励ましていただけるように全職員で取り組んできた成果であり、忙しい中をお仕事の日程等の調整をつけてご来校いただいた皆様方のご協力の結果でもあると考えます。

また、授業時間数等の確保が厳しい現状ではありますが、『ふれあい鯉のぼり祭「真野」』などの地域の行事や活動に、今後も学校として積極的に参加していきたいよう努力していきたいと思えます。

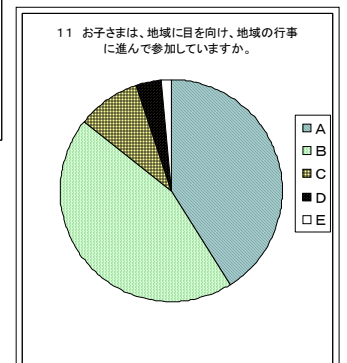
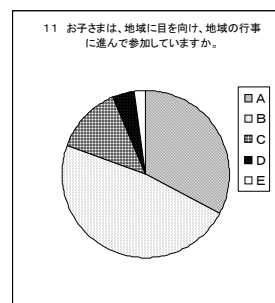


11、お子さまは、地域に目を向け、地域の行事に進んで参加していますか。

昨年度よりA「そう思う」の回答が増え、C・D・Eと回答された方が減りました。

不審者などへの対応ということで子どもたちだけで外出させづらい、あるいは、習い事や塾などに忙しいなど、様々な要因が考えられますが、将来の真野を支えていく子どもを育てていくために、学校としては、地域の素材を生かした学習や、郷土への愛着が持てるような活動などをできる限り取り入れていくよう努力しております。

ご家庭においても、地域の一員としての自覚を植えつけ、将来の真野の中核を育てるために、地域の行事等に参加できるような今後ともご配慮をいただきたいと思えます。



12、学校は、校舎内外の環境整備に取り組んでいますか。

83%の方から「そう思う」という回答をいただきました。

平成21年度に大津市による学校ICT環境整備事業により、大型テレビやパソコン等の機器が充実してきたことや、昨年度は、校舎の耐震改修や体育館の屋根等改修工事をはじめ校舎の内外の施設・設備の改修を行ってきたことが評価されたのではないかと考えます。

しかし、『愛校活動』や『PTAの助成金』『ベルマーク』等の形でPTAとしてご協力いただいたり、ボランティアとして支えていただいたりした成果でもあると思えます。

ただ、数名の方から指摘を受けました玄関前の水漏れ修理には、必要とする特殊な部品が届くまで立ち入り禁止措置をとらざるをえませんでした。また、基準によって体育館の照明は3灯以上切れないと交換してもらえなかったり、あるいは、体育館の床のようにいたみの激しい学校から順次改修していくというように、種々の事情ですぐに改善できないものがあります。

市の財政状況が苦しい中、少しずつではありますが、施設・備品面の整備が進んでおります。今後とも、様々な場面でご家庭や地域の方々にご協力をお願いすることになりますが、よろしく願います。

